

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス まなび家若宮		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達・特性に応じた小集団での支援	小集団活動の中で、異年齢(他校)の子ども達との遊びやゲームなどの活動を通して社会におけるルールやマナーを含め、コミュニケーションスキルの取得、リーダーシップが取れる。思いやりの心が持てるように取り組んでいる。	子ども同士の関わりの中で、子ども自身での気づき・発見が導き出せるよう支援を行っていく。
2	保護者支援及び関係機関との連携	保護者からの家庭や学校での困り感などの相談に応じ、解決や改善策に積極的に取り組んでいる。学校の宿題などのつまずきについては、子どもの困り感が軽減されるよう、学校と保護者と連携を図り対応している。家庭での困り感は保護者や担当相談支援専門員と連携を図り、対策に取り組んでいる。	引き続き、保護者のニーズに応じていけるよう、関係機関との連携を図っていく。保護者の不安や悩みに職員一同対応し、安心していただけるよう努めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の公園で活動する機会があっても、放課後児童クラブとの交流を図れていません。	学童の先生方と交流、学童と放デイを併用している児童についての情報共有をしていく。	学童の先生方と交流を兼ねて今後以降、密に連絡を取り情報共有をしていきたい。
2	父母会の活動支援、保護者同士の交流や、きょうだい同士の交流機会、きょうだいへの支援を図れていません。	個別に保護者の方のご相談は丁寧に対応していますが、保護者同士の交流、ごきょうだいに対する支援は、今現在できていない。	保護者の意見をお聞きしながら、今後、検討していきます。
3	専門職による支援	利用児の発達・特性に応じた作業療法士・言語聴覚士・理学療法士・心理士など専門職による直接支援が望ましいが確保できない。	必要な人材が確保できれば良いが、現段階では直接支援者が研修などを重ね、専門性に繋がる支援に取り組む必要がある。